

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・前期・A群
	対象学科・専攻	電気電子工学科
情報基礎 (Fundamentals of Information Processing I)	担当教員	前園正宜 (Maezono, Masaki)
	教員室	電気電子工学科棟1階(Tel. 42-9071)
	E-Mail	maezono@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 15回	
〔本科目の目標〕 コンピュータの基本的な構成を学び、PC-UNIX、Windowsなどの操作法を修得する。また、ネットワークへのアクセス、メールの利用を通じて、ネットワークにおけるエチケット（ネチケット）を理解する。		
〔本科目の位置付け〕 本科目は情報処理、情報処理特論など、情報端末の操作を要する科目の基本となる。		
〔学習上の留意点〕 本科目は演習が主である。これからのエンジニアはコンピュータが扱えることが必須となっているため、学生諸君には、積極的に講義に参加し、各種情報端末に慣れ親しむことを要望する。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. コンピュータの歴史	2	パソコンが開発されるまでやパソコンの進歩の歴史を理解でき、コンピュータの素子の変化を理解できる。
2. コンピュータのハードウェア構成	2	コンピュータを構成する5つの基本要素を理解でき、パソコン部品との対応関係を理解できる。
3. 2進数の取り扱い	6	10進数、2進数、16進数の関係を理解して相互に変換できる。2進数による加減乗除の計算や、2進数の小数、負の表現ができる。
4. ソフトウェア	2	オペレーティングシステムとアプリケーションソフトの役割を理解できる。
--- 前期中間試験 ---	2	授業項目1～4について達成度を確認する。
5. ディレクトリとファイル	2	ファイル・ディレクトリの概念や構造を理解でき、データ容量や文字コードなどのファイルと2進数の関係を理解できる。
6. ログイン	2	ネットワークを用いたコンピュータシステムの正規利用者としてユーザID、パスワードの概念と取り扱い方を理解できる。
7. UNIXとインターフェース	2	UNIXおよびインターフェースについての概念を理解でき、コマンド入力によるコンピュータの操作の方法を理解できる。
8. Windowsパソコンの名称	2	パソコン、windows画面、キーボード各部の名称及び機能を理解できる。
9. Windowsの基本操作	2	ソフトウェアの起動や、簡単なファイルの作成、ファイル操作など基本的な操作を行うことができる。
10. 電子メール	2	メールアドレスの概念を理解でき、電子メールを作成、送受信、読むまでの一連の操作を行うことができる。
11. インターネット	4	インターネットを用いた情報検索やネチケットについて理解でき、著作権の概念と、インターネット上の情報との関係を理解することができる。
--- 前期期末試験 ---		授業項目1～11について達成度を確認する
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解出来る
〔教科書〕 適宜プリントを配布する		
〔参考書・補助教材〕 特になし		
〔成績評価の基準〕 中間および期末試験成績(70%) + レポート提出(30%) - 授業態度(上限15%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		